

症例報告 4

要旨

ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に悪影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の 1 つをご紹介します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の異常や生活の質を改善させ、健康な状態を維持すること。

背景

患者は、傍ストーマヘルニアの修復後、地域の医療支援を受けました。

患者の概要

患者は64歳の女性で、緊急手術を受け、ループ式回腸ストーマ造設を行いました。しかし、慢性閉塞性肺疾患（COPD）が不安定な状態であったため、このストーマを元に戻すことはできませんでした。患者は急性の COPD を複数回発症し、その合併症として、かなり大きな傍ストーマヘルニアを発症しました。さらに腸閉塞を起こし、その結果、傍ストーマヘルニアの修復を含む手術を受けました。

問題

定期的な自宅訪問時に、患者はストーマ周囲に激しい痛みがあると訴え、その痛みが、傍ストーマヘルニアを修復する前の腸閉塞の痛みと似ていると説明しました。患者はとても心配し、何か悪いことが起こっていて、再入院することになるのではないかと不安に思っていました。診察してみると、ストーマはピンク色で健康な状態でしたが、排泄するときにストーマが皮膚の高さまで収縮していました。この収縮により、排泄物が面板の下に漏れ、皮膚障害を起こしていました（写真1）。患者は後に、ストーマ周囲の皮膚が浸軟して、かゆみもあったと話し、入院も手術も必要がないとわかり、安心していました。

ケアの実際

患者は、傍ストーマヘルニアの修復後、単品系平面装具と用手成形皮膚保護剤を使用して回腸ストーマを管理し、毎日交換していました。しかし、排泄中にストーマが収縮しストーマ近接部に強い痛みを感じていたため、凸面装具を使用することになりました。患者は面板を 2 ～ 3 日装着したまま、採便袋を毎日交換できるように、二品系装具を試すことを希望しました。二品系硬性凸面型面板「ニューイメージ セラプラス 凸面」と「ニューイメージロックンロール」を使用しました。単品系から二品系のストーマ装具に変更する際には、患者に適切な貼り方を指導しました。

裏に続く



写真1 ストーマ周囲の皮膚の軟化。



写真2 10日間後のストーマ周囲の皮膚。

症例報告 4

彼女は剥離剤を使用して 3 日ごとに面板を交換することに同意しました。採便袋は毎日交換できました。患者は引き続き、通常の手順に従ってストーマの周りを洗浄しました。

結果

10 日後にストーマ周囲の皮膚を評価するために自宅訪問が手配されました（写真 2）。患者は、ストーマ周囲の痛みとかゆみが解消されたと話し、とても満足していました。

結論

ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲皮膚障害を経験し、ストーマを造設したら仕方がないこととしてそれらの問題を受け入れています³。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマの周囲に適切に密着させ、漏れを防ぐだけでは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に保つのに十分ではない場合があります。面板の配合成分は、ストーマ周囲の皮膚の健康状態にも影響を及ぼします。面板の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge*. J Wound Ostomy Continence Nurs. 2007; 34(1):70.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study*. PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A *Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit*. World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面」、「ニューイメージ ロックンロール」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての患者に適応となるとは限りません。



*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。

 すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホルスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated



Hollister Incorporated
2000 Hollister Drive
Libertyville, Illinois 60048 USA
1.800.323.4060

www.hollister.com